

August 20, 2019

【前日の為替概況】ドル円、米 10 年債利回りやダウ平均の上昇を受けて 106.70 円まで上昇

19日のニューヨーク外国為替市場でドル円は3日続伸。終値は106.64円と前営業日NY終値(106.38円)と比べて26銭程度のドル高水準だった。中国やドイツの景気刺激策への期待からアジアや欧州の株式相場が上昇。投資家のリスク回避姿勢が後退したことで円売り・ドル買いが出た。米10年債利回りが一時1.6233%前後まで上昇したことも相場の支援材料となり、106.70円と日通し高値を付けた。106.46円付近まで下押ししたものの、米金利上昇や米国株高に伴う円売り・ドル買いは根強く下値は限定的だった。

ロス米商務長官は「FRBの金融政策によるドル高は非常に不快」と述べ、トランプ米大統領は「政策金利は少なくとも100bp引き下げるべき。量的緩和を再開するべき」と述べたが、相場の反応は限られた。

ユーロドルは5日続落。終値は1.1078ドルと前営業日NY終値(1.1090ドル)と比べて0.0012ドル程度のユーロ安水準。20時前に一時1.1114ドルと日通し高値を付けたものの、上値は重かった。米長期金利の上昇に伴うユーロ売り・ドル買いが優勢となり、1.1076ドルと日通し安値を付けた。なお、主要通貨に対するドルの値動きを示すドルインデックスは5時前に一時98.39と日通し高値を付けている。

ユーロ円は続伸。終値は118.13円と前営業日NY終値(117.96円)と比べて17銭程度のユーロ高水準。

トルコリラはトルコ中銀が「融資の伸び率が10-20%の銀行に対する預金準備率を引き下げる」と発表したことを受けて売りが優勢に。対ドルでは一時5.6736リラ、対円では18.76円までリラ安が進んだ。

また、南アフリカランドは対ドルで15.4995ランド、対円では6.88円までランド安に振れたほか、メキシコペソは対ドルで19.8937ペソ、対円では5.36円までペソ安に振れた。

【本日の東京為替見通し】ドル円、米 10 年債利回りや株式市場の上昇を受けて底堅い展開か

本日の東京市場のドル円は、米10年債利回りやダウ平均の上昇を受けて底堅い展開が予想されるものの、21-22日に開催予定の日米閣僚級通商協議、22-24日に開催されるジャクソンホール会議を控えて動意に乏しい展開が予想される。

21-22日の日米閣僚級通商協議を控えて、1-7月の対米貿易黒字は4.037兆円となり、昨年同時期の3.959兆円から微増しており、日米貿易不均衡是正に関して、茂木経済財政相がライトハイザー米通商代表部(USTR)代表から大幅な譲歩を迫られる可能性が高まりつつある。トランプ米大統領の2020年米大統領選挙での再選のカギを握る米国産農産物の対日輸出拡大に関しては、環太平洋連携協定(TPP)並みの関税引き下げが妥協点だと思われるが、トランプ米大統領は関税の撤廃を目論んでいるとの観測報道もあり、予断を許さない状況が続く。

自動車の輸入関税に関しては、農産物の関税との兼ね合いで25%からゼロ%まで妥協点を探ることになるが、「為替条項」が俎上に上る可能性にも要警戒となる。

さらに、日米貿易不均衡是正と日米安全保障(有志連合への参加、米軍駐留経費の負担増)との兼ね合いにも要警戒か。

トランプ米政権が中国を為替操作国に認定したことで、為替操作の認定基準が「2015年貿易円滑化・貿易執行法」ではなく、「1988年包括通商競争力法」に移行したことになる。

日本は2条件に抵触していることで監視対象国に指定され、2013年以降の円安要因が日銀による量的金融緩和と指摘されていることで、日米貿易不均衡是正圧力やドル高・円安是正圧力が高まる可能性に要警戒となる。

22-24日のジャクソンホール会議では、23日に予定されているパウエルFRB議長の講演で、年末に向けた追加利下げに言及されるとの思惑がドル円の上値を抑えている。

メインシナリオは、市場が織り込んでいる0.25%の利下げ(確率83.3%)の追認だが、0.50%の利下げ、あるいは、トランプ米大統領の1.0%利下げ圧力に屈するのか、それとも、リスクシナリオとしての、利下げ見送りというタカ派的な見解が示されるのか、予断を許さない状況が続くことになる。

地政学リスクとしては、香港での抗議活動、北朝鮮による飛翔体発射、インドとパキスタンのカシミール問題、イランと米国の軍事衝突の可能性などが挙げられる。

経済的リスクとしては、米国債券市場での長短金利逆転(逆イールド)が警告するリセッション(景気後退)の可能性、香港問題が交渉カードに入ることで米中通商協議が難航する可能性、アルゼンチンのデフォルト(債務不履行)の可能性などが挙げられる。

【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

<国内>

特になし

<海外>

- 10:30 ◎ 8月豪準備銀行（RBA）理事会議事要旨
- 15:00 ◇ 7月独生産者物価指数（PPI、予想：前月比0.1%）
- 17:30 ◎ 7月香港消費者物価指数（CPI、予想：前年同月比3.0%）
- 18:00 ◇ 6月ユーロ圏建設支出
- 21:30 ◇ 6月カナダ製造業出荷（予想：前月比▲1.7%）

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

【前日までの要人発言】

19日 16:02 マクドネル労働党議員(影の財務相)
「コービン労働党党首は来週にも野党を結集させ、合意なき離脱を避けるための協議をする」
「ジョンソン英首相が年後半か来春にも総選挙を実施したいことは明らか」
「議会では依然として合意なき離脱反対が大勢」

19日 17:17 イラン外務省
「米国がイラン石油タンカーの拿捕を試みれば、重大な結果を招く」

19日 17:35 英保守党グリーヴ元法務長官
「合意なき離脱とならぬこと確実にするため労働党と協力へ」

19日 19:06 ブンデスバンク(ドイツ連邦銀行)
「ドイツ経済は夏を超えても縮小が続く可能性も」
「ドイツ経済、第3四半期に再びマイナス成長となるリスクを見込む」

19日 19:20 ミュラー・エストニア中銀総裁
「ユーロ圏のインフレは低過ぎる」
「更なる刺激策が9月に決定される可能性も」

19日 19:24 コービン英労働党党首
「壊滅的な合意なきEU離脱を止めるために必要な全ての手段をとる」
「議会解散を支持」

19日 19:27 欧州委員会報道官
「合意なきブレグジットを望まないが、あらゆる不測の事態に備える」
「合意なき離脱となれば、一番の敗者は英国」

19日 19:50 英首相報道官
「EUがバックストップ案を取り下げない限りは正式な離脱交渉はできない」
「議会早期解散は排除している」
「ブレグジットについて英と仏・独首脳会談の主要議題」
「ブレグジットの準備に関する情報は数週間以内に発表する」

19日 19:51 カーニー・イングランド銀行(BOE)総裁
「現時点では、マイナス金利は選択肢にない」

19日 20:11 ザリフ・イラン外相
「米国が望んだイランの石油タンカー拿捕は違法、その試練が収束して我々は満足」

19日 21:38 ロス米商務長官
「FRBの金融政策によるドル高は非常に不快」

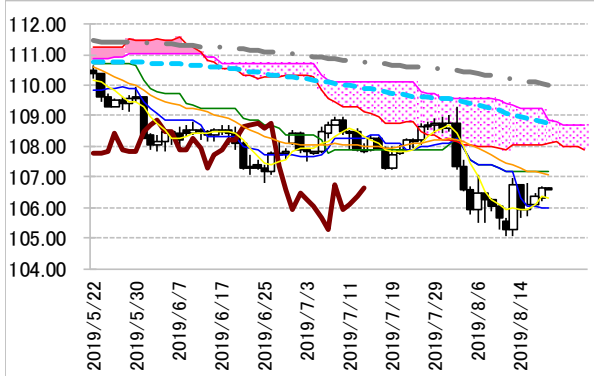
20日 00:33 トランプ米大統領
「政策金利は少なくとも100bp引き下げるべき」
「量的緩和(QE)を再開するべき」
「経済はパウエルFRB議長のビジョン欠落にもかかわらず強い」

20日 01:05 ペンス米副大統領
「中国は香港の法律を尊重する必要がある」
「香港での暴動が起こるのであれば、通商交渉合意は難しい」

20日 02:39 ローゼングレン米ボストン連銀総裁
「米国の経済状況は依然としてかなり良好」
「利下げをし過ぎるのも負担になる」

※時間は日本時間

〔日足一目均衡表分析〕

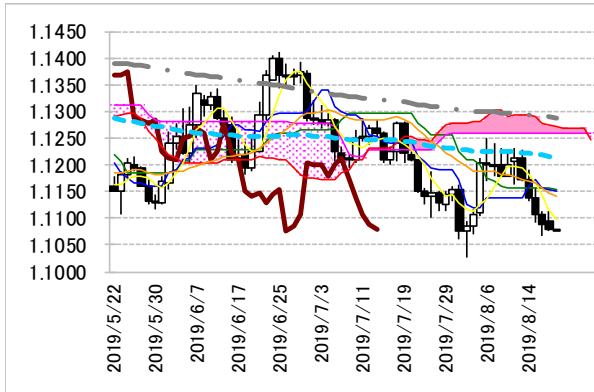


<ドル円＝転換線を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、雲の下で推移していることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯している。しかし、13日の大陽線、3手連続陽線で転換線を上回っていることで戻りの可能性が示唆されている。

本日は、転換線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下回った場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	107.19(日足一目均衡表・基準線)
前日終値	106.64
サポート 1	106.02(日足一目均衡表・転換線)
サポート 2	105.05(8/12 安値)

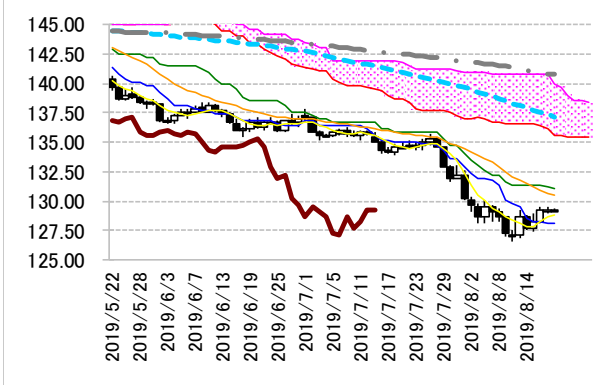


<ユーロドル＝転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、雲を下回っていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯している。5手連続陰線で下落トレンドが継続する可能性が示唆されている。

本日は、転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	1.1149(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	1.1078
サポート 1	1.1027(8/1 安値)

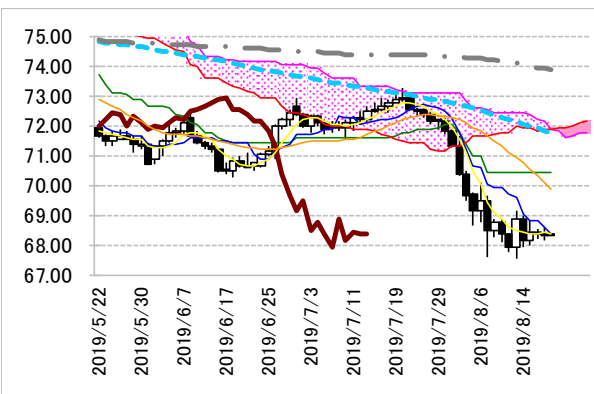


<ポンド円＝転換線を支持に押し目買いスタンス>

小陽線引け。一目均衡表・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、雲を下回っていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯している。しかし、三川明けの明星、3手連続陽線により反発の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	130.07(8/6 高値)
前日終値	129.32
サポート 1	128.07(日足一目均衡表・転換線)



<NZドル円＝13日高値を抵抗に戻り売りスタンス>

小陰線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、雲の下で推移していることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯している。13日の抱き線で反発、14日の孕み線で反落後、14日の陰線内でのみみ合いが続いており、下落トレンド再開の可能性が示唆されている。

本日は、13日高値を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同水準を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	69.16(8/13 高値)
前日終値	68.36
サポート 1	67.56(8/13 安値)

